

営農支援課、春日部地区担当TACの山口です。

稲の病虫害防除に用いる箱粒剤の散布が手間だと感じている方が多いと思います。そこで、今回は種まきと同時に箱粒剤が散布できる播種同時施薬機「パラット」を紹介いたします。

今年、春日部地区でルーチンアドスピノ箱粒剤を使用し、播種同時散布を行なったところ、作業性がよいことから省力化が計られ、ばらつきやすい箱粒剤散布が適量かつ均一にできました。苗立枯細菌病や苗腐敗症の登録がある薬剤を散布することにより、育苗中の安心にも繋がります。

播種同時施薬機「パラット」は据え付け型のため、播種機を選ばずに使用できますので、今後の播種にご利用されてはいかがでしょうか。

